

センターだより

きゅと!

令和4年度 11月号

四天王寺悲田院 児童発達支援センター

子どもたちの目標

- 「規則的な生活と元気な体づくり」
- 「意欲的にいろいろなあそびを楽しむ」
- 「自分のことは自分でする」
- 「家族以外の人と過ごすことができ、友達と仲良くできる」
- 「知らない所でもなじむことができる」
- 「気持ちや感性を適切に表現でき、落ち着いて行動できる」
- 「自分の意志を伝え、他人の意志を受け止められる」



11月の予定

- 3日(祝・木) 子どもカーニバル “でんでん” (事前申込制)
※当日センターでの療育はありません
- 5日(土) おやすみ
- 12日(土) にじクラス親子保育 ※8月延期分
- 14日(月) 太子講 10:30~
- 19日(土) おやすみ
- 23日(祝・水) おやすみ
- 26日(土) 昼店(事前申込制)
※当日センターでの療育はありません
- 28日(月) 避難訓練(保育棟)



おしらせ

○実習生がきます クラスに入りましたら、よろしくお願ひします

- | | |
|------------------------------|------------|
| 10/13(木)~11/25(金) 関西福祉科学大学 | (言語聴覚士) 1名 |
| 11/7(月)~11/18(金) 四天王寺大学短期大学部 | (保育士) 1名 |
| 11/14(月)~11/28(月) 四天王寺大学 | (社会福祉士) 1名 |
| 11/21(月)~12/5(月) 四天王寺大学 | (保育士) 1名 |

○昼店について

ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していましたが『昼店』を、今年は開催いたします。

昼店とは、大阪府知事特別法人 大阪神農商業協同組合 東住吉支部さんがボランティアで、例年ベビーカステラ、やきとり、やきそば、お好み焼といった食べ物から、遊びの屋台が並びます。(今年度の屋台内容は未定です)

今回開催するにあたり、新型コロナウイルス感染症対策として、事前申込制にし(申込期間は終了しております)、参加される皆様の参加時間をこちらで決めさせていただいております。

参加時間については後日、参加される皆様にお知らせさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

○羽曳野コース(赤バス)のバスが新しくなりました!



10/29(月)より、羽曳野コースのバスが新車になりました。新しいバスは、現在の藤井寺コース(緑バス)と同じ車体です。

ピカピカの真っ白の車体で、羽曳野コースご利用のお子さん達を安全に送迎させていただきます!





ちょっと気になる食事の姿勢

作業療法士 長橋陽香

お子さんの食事中の姿勢って気になることありませんか？ご自宅での食事の様子で「じっとできない・姿勢が悪い」などのお話を聞くことがあります。姿勢を良くしてほしくて「ちゃんと座って・姿勢よくして」と注意をしても聞いてくれず、「食事を嫌がるようになった」「ウロウロする時間が長くなった」など失敗談を聞いたこともあります。今回は、食事姿勢のポイントを話したいと思います。

まず食事をこぼさず、綺麗に食べるためには、「注意を向ける・手や口をしっかりと動かせるように姿勢を保ち続ける、非利き手で食器を持つ、利き手でスプーンやお箸を操作する、口に運ぶ、しっかりと噛み飲み込む」という一連の動きが必要となります。この時どうしても、口元の動きやスプーンやお箸の使い方に目が向きやすいのですが、「姿勢を保つこと・バランスを取ることも大切なポイントになります。

「姿勢？」となるとと思いますが、姿勢と言っても、ただ座り続けている姿勢を見るだけでなく、見て頂きたい食事姿勢のポイントがあります。

それは【足の位置】と【骨盤の位置】です。

食事中足を前に放り出す、座面に足を乗せて食べるお子さんを見かけます。足の支えは、良い座りを持続させるポイントになる為、足底がしっかりと床や足置きなどにつき、踏ん張りやすい位置に足を置いているか確認してみてください。（図ポイント②）

【骨盤の位置】と聞くと難しく感じますが、まずは「背もたれにもたれ過ぎていないか」「身体をひねっていないか」「猫背になっていないか」など上半身の状態を確認してみてください。このように足底がつかず背中を真っ直ぐに座ることが難しければ、身体のサイズに合った椅子の大きさに変える・背もたれにクッションを挟む等の工夫をしてみてください。（図ポイント③）



お子さんにとって、「良い姿勢を保つこと」と「食べること」を同時に行うことは、大変なことです。このため、注意されたときは姿勢を戻してもなかなか続きません。注意しても意味がないという声も聞きますが、継続的に声掛けをする事は大切です。

また食事場面の声掛けだけでなく、お子さんの「姿勢を保つ」「バランスを取る」に繋がる遊びがあります。その遊びの例として、トランポリンやブランコ、滑り台など大きな外力に負けずに落ちないような姿勢を調節する(前庭感覚)遊びや、大人がお馬さんになってその上でお子さんは落ちないようにしがみつく遊び等があります。バランスをとる動きや、体を反らす(うつ伏せの状態から顔を上げる)動きなどが大切となりますので、お子さんが楽しめる遊びからこれらの動きの経験を増やして頂き、より良い食事姿勢に繋がるようご家庭で試してみてくださいね。

